

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030201090	予算コード	01017900	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)事業			正規職員数	0.13	国庫支出金	有効性	介護保険施設や軽費老人ホームの対象とならない、生活が難しい高齢者のための生活支援ハウスは、今後も必要である。	A	
担当課	高齢介護課			嘱託職員数	0	府支出金	効率性			A
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	妥当性			A
	泉佐野市生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)事業実施要綱			歳出(千円)	1,318	その他	受益者負担			A
				人件費総額	1,018	一般財源	3,550			A
						減価償却費	0	A		
						事業費	3,850	A		
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	4,868	緊急性	事務事業実施内容	市内に2箇所ある生活支援ハウスには、各施設4人利用として、まだ数人分余裕がある状態であった。		
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	48	公的関与	A			
対象	特定の市民			活動指標	H26実績	実施主体・委託化	B			
		対象数		延利用者数	6.0	他の事務事業との関連	A			
	ひとり暮らしや家族の援助を受けられない高齢者等					透明性	B			
事業の内容	概ね65歳以上のひとり暮らしの者、夫婦のみの世帯に属する者及び家族による援助を受けることが困難な者であって、高齢者のため独立して生活することが困難である者を生活支援ハウス(泉ヶ丘園、アムリタ)に、一定期間入居させることにより、安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者福祉の増進を図る。			成果指標	H26実績	財政健全化計画	該当なし			
				延利用月数	43.0	財政健全化の取組	該当なし			
						改革改善プラン達成度	該当なし			
				コスト指標	H26実績					
事業の目的	高齢等のため、独立して居宅において生活することに不安がある高齢者等に対して、安心して健康で明るい生活を送れるよう支援し、高齢者福祉の増進を図ることを目的とする。			利用者1人1月当りの経費(フルコスト/延利用月数)	113,209.0					